

連合福島第24回年次大会

復興・再生に全力を尽くし「働くことを軸とする安心社会」につなげよう！

連合福島の第24回年次大会は、10月19日（金）福島市の福島グリーンパレスにおいて開催され、役員・代議員など230名が出席した。冒頭、影山道幸連合福島会長は「連合福島を取り巻く情勢は、厳しく、難しく、大きな変革のうねりの中にあるが、課題を共有し、大会活動方針の具現化にむけて行動しなければならない。その重要な活動方針の一つが、東日本大震災からの復興と再生である。一刻も早く安心と安全を感じ取れる福島を創り上げるため、切れ間なく政策協議や提言活動を推進しなければならない。二つ目には、政治に対する方針であるが、支持政党問題について、従来通り民主党を基軸とし、現政権を維持することを確認し、また、迫りくる国政選挙や県内主要都市部の首長選挙に勝利するため、構成組織・地域地区連合が一体となって行動しなければならない。三つ目に社会全体の不安定が許容範囲を超え、持続可能性が脅かされている。働くことを軸とする安心社会の実現に向けて、連合福島に結集する全ての力を合わせて取り組むことを全体で確認したい。」と挨拶した。



代表挨拶をする影山道幸連合福島会長

～運動方針の補強を可決・承認～

大会には連合本部から山根木総合労働局長を始め、福島県知事、福島労働局長、各政党の代表者など、各方面から多くのご来賓の方々にご出席を賜り、それぞれご挨拶を頂いた。

大会議事については、まず、新規加盟組合の紹介では「自治労川俣町社会福祉協議会職員労働組合」、「自治労福島グリーンパレス職員労働組合」、「昭和KDE会津工場労働組合」、「IHIジェットサービス労働組合」の4組合に組合旗が贈呈され、連合福島の加盟組織となった。

また、2013年度の運動方針については、昨年の定期大会で可決・承認された運動方針に、更

なる補強が加えられ提案された。UIゼンセン・秋葉代議員、電機連合・生亀代議員、自治労・渡部代議員から意見・質問が出されたが、執行部がしっかりと答弁し、2013年度の運動方針は満場一致で可決・承認された。

その後、「大会宣言」と「福島の復興再生と雇用を守る特別決議」と「国政選挙に勝利する特別決議」が提案され、採択された後に、影山会長のガンバロウ三唱で年次大会が閉会となった。



真剣に傾聴する代議員の皆さん